

6月10日、11日の本会議では、10名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

加西病院の現状と今後について



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

問 今後新型コロナウイルスの感染が心配な場合の受診等について。

答 感染が不安な場合、兵庫県や加東健康福祉事務所の専用ダイヤルにご相談ください。発熱等で受診される場合は事前に電話をいただくと助かります。

問 新型コロナウイルスの第2波等に備えて、加西病院のPCR検査等の拡充について。

答 県からの拡充要請があれば、PCR検査の拡充や抗原検査、

抗体検査等も検討したいと考えます。

問 加西病院の現状の患者数等新型コロナウイルスの影響について。

答 4月の患者数は、昨年同月比で1日当たり外来118人の減、入院患者30人の減、手術42件の減です。現在、状況は安定していますので、通院控えをさげずに受診いただければと思います。手術については、感染防止対策を講じながら通常に戻していきたいと考えます。

問 新型コロナウイルスの影響による収支悪化のため、病院建てかえ時期が遅れる可能性は。

答 病床数を199床にしたことによる診療報酬の効果は、昨年と同程度の患者数であれば当初見込みの約2倍、1.2億円の

増収となりますが、外来患者数が75%になっており、今のペースではマイナスとなります。ただ、建てかえの計画が大きく変わるとは考えていません。

問 加西病院は北播磨地区で唯一「第二種感染症指定医療機関」に指定されているが、他の病院への変更について。

答 昨秋の北播磨地域医療調整会議の場で、施設等が整った他の病院に移していただきたいと、指定の返上を県に上程し、審議していただいています。しかし、新型コロナウイルスの影響で審議が止まり、保留状態になっています。

■その他の質問項目

- ・加西市の教育について
- ・その他新型コロナウイルス関連について

北条鉄道について



黒田 秀一 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 法華口駅の行き違い設備の工事完了及び行き違いの実施時期について。

答 4月末完成の予定でしたが、国からスロープの転落防止対策の指摘を受け、追加工事がかかります。完成後の増便ダイヤでの運行は9月を目指しています。

問 行き違い設備完成後、列車の増便による粟生駅での接続について。

答 増便は朝3便、夕方2便の予定です。朝は粟生発加古

川行き、新開地行きの神戸電鉄に接続、折り返しは粟生着の神戸電鉄粟生線、西脇及び加古川方面からの加古川線と接続可能です。夜の増便もおおむね同様の接続ができ、利便性は高まると考えます。

問 法華口駅に造成されたホームの土台の一部はまるで仮設で、ホームは湾曲している。既存ホームも一部削った状態だが、景観について考慮されたのか。

答 ホームの土台は北条鉄道と施工業者の認識の違いで生じましたが、手直しの協議も整い7月ごろ完了見込みです。ホームの湾曲は、列車の行き違いの際に車両との衝突を避けるための施工で、両サイドにアールを設けています。駅舎景観は当然配慮すべきですが、経費を安くする点から一般的な工法による外観とし、必要以上に経費をかけると補助対象事

業の面から認可に影響を及ぼすため、やむを得ない対応と考えます。

問 行き違い設備完成後の増便による収益見込みについて。

答 今年度利用者は昨年度比で約3,800人増、7年目まで増加傾向で最大年間4万6,000人の増、その後10年は4万人程度の増で推移する見込みです。一方、今年度収益は30万円程度のマイナス、以降一定増加傾向で7年後に750万円まで伸び、その後は次第に減少して700万円程度の収益増と推計しています。

問 副社長がボランティアであるが、責任の所在は。

答 (市長) 会社法上の取締役の責任の範囲は報酬を前提に作ってありますが、取締役全員が無報酬です。副社長が責任を負うのではなく、経営の最終責任は私が負うものと思っています。